



1 明北小職員『2学期が始まったねミーティング』 9月9日（水）

明北小学校では、一昨年度から不定期で、先生方が職員室長机を囲んで、「〇〇ミーティング」と題し、その時々为学校の様子に合わせて話をしています。（明北小へようこそミーティング・もうすぐ冬至ミーティングなど）

今回は、年度当初のミーティングで語り合った「こんな子どもたちに！こんな明北小に！」←「そのために、こんなことができそう！！」について、1学期はどうだったかな？と振り返りました。その場にいた先生方は、1人2人…と語り出し、最終的に以下のようなことが語られていました。



☆子どもたちに「**どうしたい？**」と問いかけるようにしたら…

- 不安に思っていることを、伝えることができるようになった子がいた
（音楽会が不安・連学年での体育が不安、発表が不安…）
- 他の人の考えを受け入れることができるようになった子がいた
（運動会のダンス、自分がやりたかった曲じゃないけど、がんばるよ）
- 私たち（教師）の考えを無理なく伝えることができた
（運動会のダンス、みんなのやりたい曲プラスソーラン節もやろうよ）

☆距離を考えながら**待つ**、その子の「**やりたい**」こと探しに付き合い続けたら…

- その子から「明北小でよかった」という言葉が出てきた

☆自分（教師）が**地域とつながったら**…

- 子どもたちの興味とフィットして、子どもたちの興味が高まり、活動が広がりつつある
（保育士さんとなつながらそこから押野山につながり…）

☆すごく悩んで子どもたちの「**やりたい**」を支えようと**覚悟**を決めたら…

- 子どもたちが本気で悩み、考え始め、わたし（教師）は「どうしたらできるか」を一緒に考えるパートナーになった
（綱引きは「子ども」VS「大人」でやってもいいよ、と言えた）

☆自分（教師）が**新しいものに挑戦して四苦八苦**してみたら…

- 子どもたちも試行錯誤しながら失敗しながら取り組んでいた
（作曲アプリを使って作曲してみたけど難しかった）

☆「**何のために？**」と目的を問いかけ**対話**を続けたら…

- 子どもが見通しをもって考え始めた
- 他の人に目が向いた
- 大人に「自分の思いを伝えお願いする（緊張の）経験」ができた

☆子どもたちの行動を**見守って**いたら…

- 思いがけない発見があった
（色水遊びでこぼれた色水を自分でふいた子のぞうきんがキレイに染まった!）

そして、「明北小の先生たちって、なんかいい感じじゃない？」という言葉で締めくくられていました。もちろん、先生方は、上手いいかないことや困っていることを抱えながら日々を過ごしています。けれど、先生方自身が「なんかいい感じ!」と思うことで、少しだけ心が明るくなり、余裕が出てくる気がします。先生方が、ちょっとだけ明るく余裕のある心で子どもたちと関わると、子どもたちにも先生方にも、ウェルビーイングな世界が広がっていく気がします。

2 明北小3年社会『りんご作りについて聞こう！』 9月9日（水）



りんご作りについて オンラインインタビュー ～3学年だよりから～

私が長野市の学校に勤務していた時に知り合った〇〇さんをお願いして、りんご作りの仕事についてオンラインインタビューをして、質問に答えてもらいました。〇〇さんは、「あいかのかおり」という品種を開発した方で、今年 80 歳になられたそうです。子どもたちに聞きたいことを書いてもらい、15 の質問が出てきたので、一人一つずつタブレットの前に出てきて質問をしました。〇〇さんには、事前に質問を送ってあったので、子どもたちの名前を呼んでくださり、大変ていねいに分かりやすい言葉で答えていただきました。「りんご作りでは、水やりはするのですか？」『川からモーターで水をくみ上げて、スプリンクラーで1～2回水をまくことがあります。』『防霜ファンはどのくらいの大きさですか？』『小さいもので羽が60cm、大きいと1mほどです。』など、とても勉強になりました。「〇〇さんは、食べてくれる人がおいしく食べられるように、いろいろな工夫をしている」と気づけた子もいました。

「明北小3年生のみなさん、こんにちは！私は今年80歳になります。」「おめでとうございます！！（大きな拍手）」そんな微笑ましい会話からインタビューは始まりました。「りんご作りの仕事で、一番難しいことは何ですか？」「おすすめの種類、1番好きな種類は何ですか？」等、子どもたちは交代しながら1つずつ質問をしました。今回の学びは、安曇野市のりんご栽培にも目を向け、それぞれの良さや工夫の発見にもつながりそうです。

<授業後の振り返り>

- ・ふだん食べているりんごは、こんなにくふうされていると思わなくて、〇〇さんの気もちになって食べれば、もっともっとおいしく感じられる気がしました。〇〇さんのりんご（あいかのかおり）を食べてみたいと思いました。
- ・おいしいりんごをみんなにとどけるために、いろいろなものを用意している人で、すごいと思いました。しつもんした時、やさしくしてくれて、うれしかったです。

3 明北小休み時間『落語 お船の話（船徳）』 9月11日（金）



子どもたちに楽しんでもらおうと、落語が得意な職員が披露してくれました。

見聞きしている者は、その世界の中にどんどん引き込まれていきます。笑顔と笑い声がいっぱいのひとときでした。

